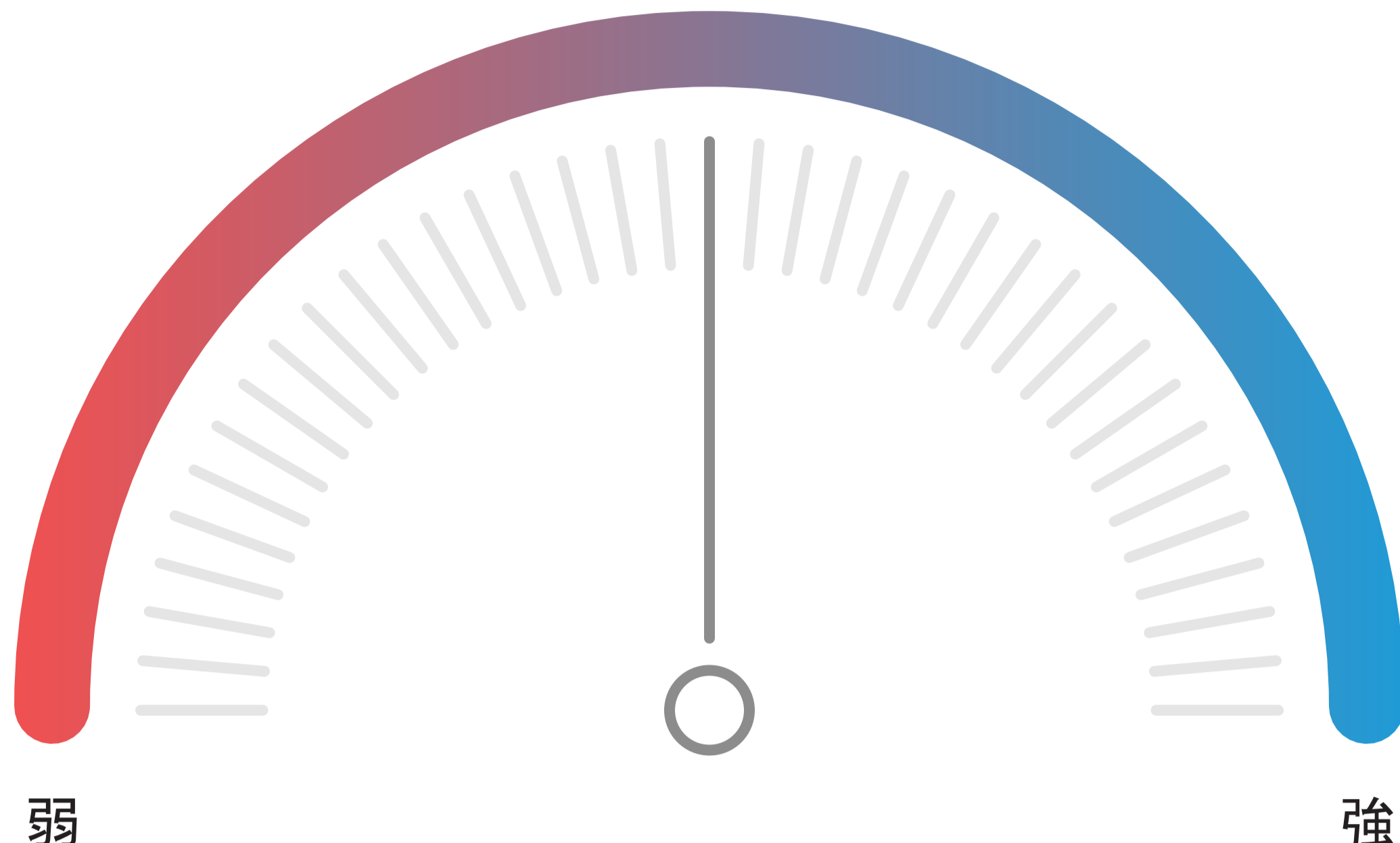


世界景気バロメーター

2017年7月

世界経済は2018年にかけて力強い成長を継続する見通し。米国は緩やかな利上げを継続し、欧州中央銀行は資産買入縮小の議論を始めるとみられる。

経済成長



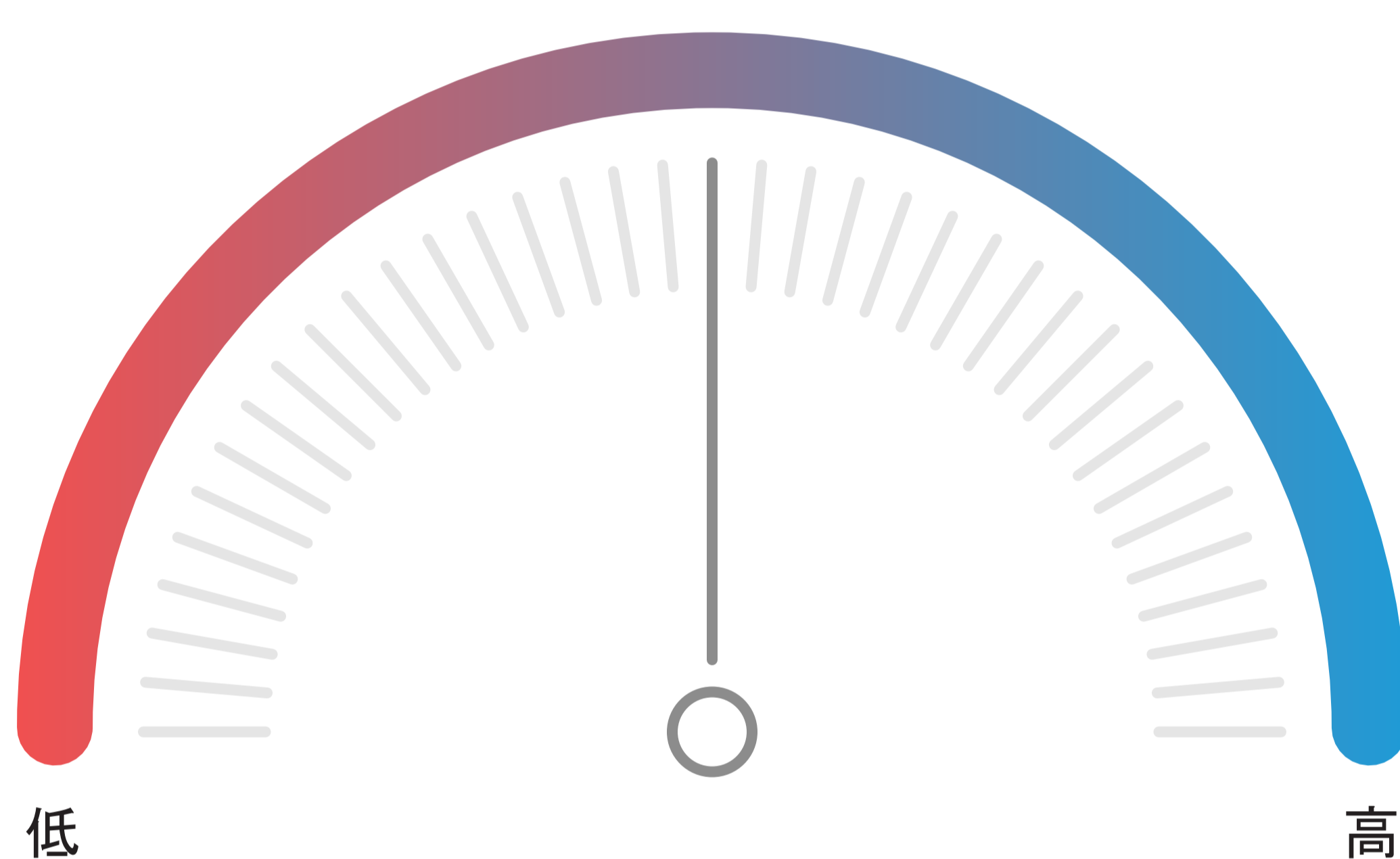
見通し

- + 世界経済は2018年も2017年と同様に力強い成長を継続
- + 足元の経済指標を見る限り、成長率は上振れする可能性のほうが下振れリスクより高い
- + 財政による大幅な景気浮揚の可能性は後退

リスク

- + 政治的な不透明性と保護主義の台頭
- + 財政による景気刺激策の行き過ぎ、または不発
- + 中国における信用収縮とハードランディングの可能性

インフレ率



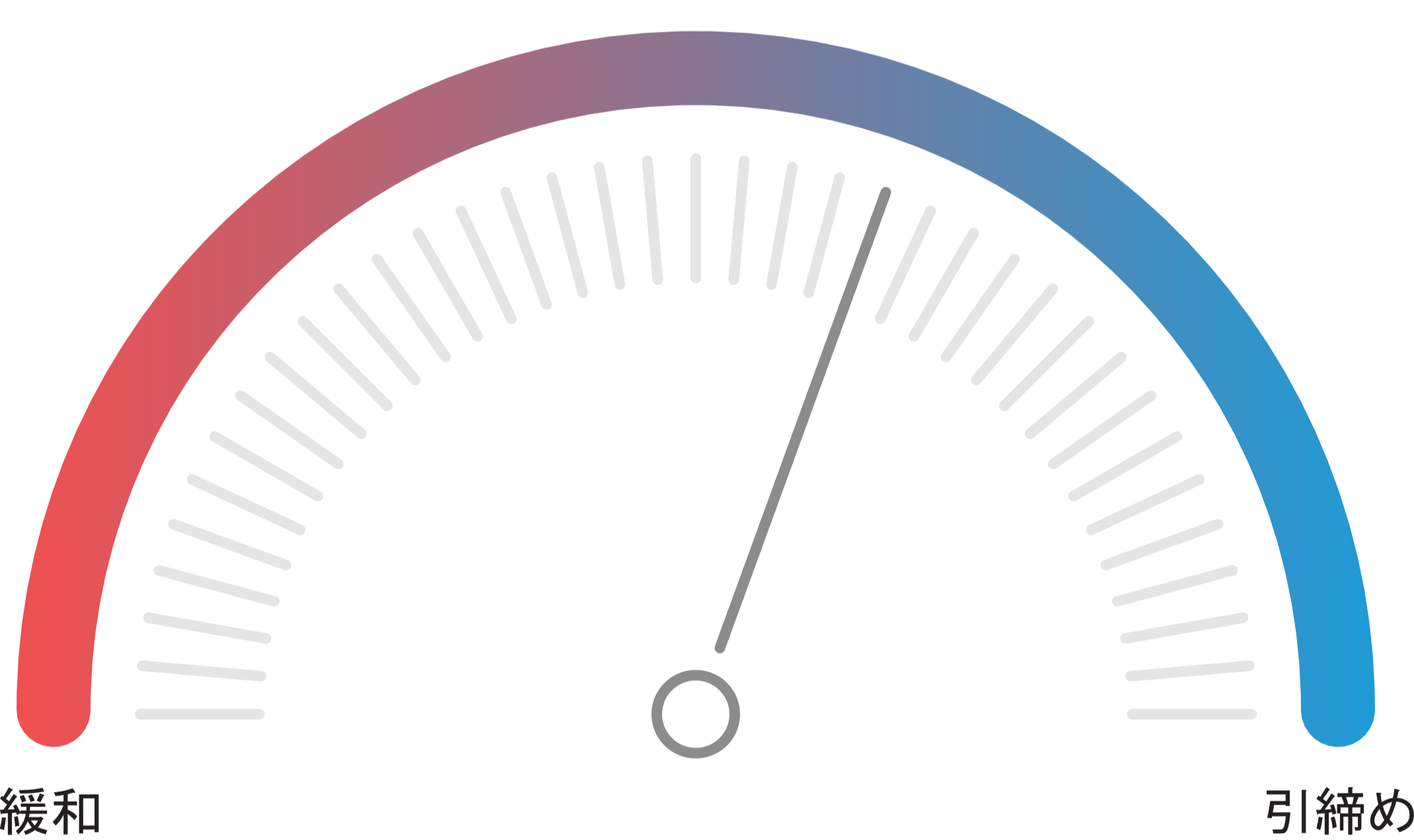
見通し

- + エネルギー価格主導のインフレ率上昇はおおむね一巡
- + インフレ期待に注目が集まる中、労働需給や賃金に焦点

リスク

- + 労働市場の需給の不確実性
- + 失業率と賃金の関係を表すフィリップス曲線は今でも有効か？

金融政策



見通し

- + 米連邦準備制度理事会(FRB)は徐々に金利を引き上げ。2018年末までにFF金利は1.88%に達する見通し
- + 欧州中央銀行は、2017年後半には資産買入縮小を議論
- + 日本銀行は当面「イールドカーブ・コントロール」政策を継続

リスク

- + 中央銀行の政策決定要因の変化
- + 予想以上の金融政策引締め
- + 中国人民銀行の政策における景気浮揚と投機抑制のバランス

出所: AB

本文中の見解はリサーチ、投資助言、売買推奨ではなく、必ずしもアライアンス・バーンスタイン(以下、「ABJ」)ポートフォリオ運用チームの見解とは限りません。本文中で言及した資産クラスの過去のパフォーマンスは将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料は、2017年7月17日現在の情報を基にアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが作成したものをアライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳した資料であり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。
当資料は信用できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また当資料の記載内容、データ等は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。アライアンス・バーンスタインおよびABIはアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社はABの日本拠点です。

アライアンス・バーンスタイン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号
【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
<http://www.abglobal.co.jp>

